

## Q.1 応援看板のテーマは？

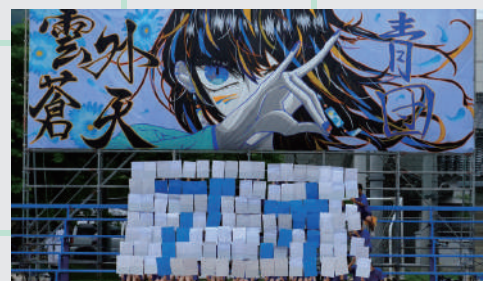
「疾風」です。鼓山祭ということで「駆ける」「速さ」を感じてもらえるように、「髪をたなびかせている」姿を描きました。サブテーマとして、人物の背後に描いた「ブルーデイズ」の花言葉の「協力」も設定しています。

## Q.2 制作する上で気をつけたことは？

キャラクターを際立たせるために、インパクトがある構図を考えました。青を目立たせるために、補色のオレンジを効果的に使用しました。また実際に応援看板に描いていく時には、下書きの紙とはバランスが違ってくるので、体育館のギャラリーから見てもらうなどして、全体のバランスを整えることに苦勞しました。

## Q.3 主任をしてみたの感想は？

2年生4人全員が応援看板未経験者でしたが、それぞれの個性を生かして役割分担ができていました。なかでも制作がうまく進まない時に、明るく声をかけて前向きな雰囲気につなげてくれるムードメーカー的な存在がいてくれて、とてもありがたかったです。1年生も自発的に動いて、自分の意見を言ってくれるので助かりました。人文字の人が「すごい」「きれい」という声をかけてくれたことも、励みになりました。サブテーマの通り皆で協力して仲良く活動できたことが良かったです。



応援看板・主任



ASHIDA UMENO  
芦田梅乃

落合中学校出身

## 人文字の部

第1位 赤団

## Q.1 人文字のテーマは？

「誇り」です。一人ひとりが堂々と最高のパフォーマンスを発揮できるよう協力しあう姿を表現しました。8拍子と4拍子の曲に合わせて、50文字の人文字を表現しました。パネルで赤・黒、ポンポンで白を効果的に表現することを工夫しました。

## Q.2 苦勞したことは？

初めて「人文字」に取り組むということで、何から始めたら良いかわからない状況からのスタートでした。私の声が小さかったり、説明の仕方が悪かったりして、なかなか準備が進みませんでした。準備期間も短く、焦りも出てきて、団全体がギスギスした雰囲気になってしまった時、主任としてみんなの前で謝りました。この先どうなるかと不安でしたが、次の日から団のみんなが気持ちを切り替えてくれて嬉しかったです。

## Q.3 主任をしてみたの感想は？

私は人見知りで、人と話すことに苦手意識がありました。でも1年生に思い切って話しかけたら、その後話ができるようになり、自分に自信が持てるようになりました。人文字についても、周りの人が喜んでくれたり、声をかけてくれたりして嬉しかったです。苦勞を乗り越えて成功できて、一番思い出に残った鼓山祭になりました。主任をすることに不安もあったのですが、思い切って挑戦してみたら良かったです。



KOMINAMI RIJU  
古南莉珠

勝山中学校出身



人文字・主任